やまびこだより No.137
特集テーマ
平成27年9月20日発行〈昭和51年12月1日発行〉

中学生ボランティア新聞

社会福祉法人 ふれあいネットワーク 長野県社会福祉協議会

地域とのつながりを感じて

清水中学校の女鳥羽川清掃（「全校奉仕活動」）は35年以上続いている伝統の活動です。

女鳥羽川清掃から「全校奉仕活動」へ

1980年（昭和55年） 女鳥羽川清掃（草刈り・ゴミ拾い）の開始

生徒総会で「奉仕活動としてみんなで何かできることをしよう」という声があがり、有志の人たちの参加から始まりました。

1982年（昭和57年） 草刈りを中心とした清掃

1988年（昭和63年） 全員参加の行事に

奉仕の気持ちがない人まで参加させるのはまずいと思う。

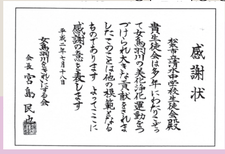
1990年（平成2年）～ 各種団体から表彰

2003年（平成15年） 活動内容を広く展開

草刈りのアレルギー症状がある生徒への対策と、他のボランティア活動の展開へ。

薄川や公園、通学路なども清掃しよう！
児童館・デイサービスへの交流訪問もやろう。

2009年（平成21年） 年間の活動が春と秋の2回に



地域の方々などから何度も表彰

励みになります！

2015年（平成27年） 13の「奉仕活動」を実行中！

私たちも地域の一員だから、地域の人とのつながりを大切にしていこう！

もっと地域に貢献できるような活動を目指して次期生徒会にも伝えていきます。

2015年度生徒会役員

地域の人とともに

総合的な学習の時間「清流の時間」より

地域の人とともに作る活動

伝統の七夕びなや手まりストラップ、おやき、やしょうまの作り方を教えていただきました。

昔の「元服の儀」にちなんで、将来の自分と向き合う行事です。（2学年）

●「立志式」
自分が目指す夢や目標を保護者の前で発表。地域の茶道の先生にお茶の点て方も教えてもらいます。

へぇ～、私たちの地域にはこんな伝統があったんだ。面白いなぁ。

地域の人とともに学ぶ活動

国語の授業で習字を指導していただきました。

●農業体験…松本一本ねぎの栽培
●家庭科…裁縫の講師
●美術科…写生会の講師
●職場体験

協力が大切です！

●地元消防団員の方々と防災訓練

各校のボランティア・地域活動の紹介

私たちの学校では、こんな活動をしています。

上田市立 第五中学校

地域が大きな学校に

「地域の先輩に学ぶ」取り組みから

「地域の先輩に学ぶ」21講座（平成27年度）
お手玉、童謡をうたう、コカリナ、洋裁、廃油石けん作り、写真、茶道、調理そば・パン・弁当、アロマ、器械体操、ニュースポーツ、ちぎり絵、絵手紙、陶芸、木彫り、切り絵、わら細工、理科実験工作、ドライフラワー細工、銅製スプーン作り、観光パンフレット作り

五中には、様々な分野の地域の達人を講師にお招きして、1年生から3年生が一緒にいろいろな体験を通して学習する「地域の先輩に学ぶ」時間があります。学んだことは、講師の先生への感謝を込め、五中の文化祭「鳳祭」で発表します。

今年度は21講座（年間８時間）が開設されました。これまでの学びの中で、迷ったり、失敗したりして落ち込みそうなときは、講師の先生がいつも声をかけてくださいました。おかげで「頑張れば、壁を乗り越えられる」ことが分かりました。

保育園児と地域の方と一緒につくった花壇

このように地域の方から学び、共に活動することは、自分を見つめたり、ものの見方を広げたりすることのできる貴重な時間となっています。

また、6月には地域の方々の力をお借りして、保育園児と一緒に花壇づくりを行い、世代を超えた交流をしました。今、五中にはその花々がきれいに咲いています。さらに今年度、地域の方々による五中応援団「チーム鳳」が発足し、放課後学習などで教えていただいています。

私たちにとってこれからも、「地域が大きな学校」です。

各校のボランティア・地域活動の紹介

千曲市立 更埴西中学校

「満天の星」の歌がつなぐ絆

地域の福祉施設との交流

お互いに日々の様子について質問し合いました。

＊交流の歌の中には、手話が入った歌もあります。

私は、「満天の星」と家が近くで、今回交流した方がいつも話しかけてくださいます。その時は、本当に嬉しいです。今回の交流を機に、もっと話をしたり、あいさつをしてみようと思います。

田毎の月で有名な姨捨の棚田をのぞむ我が校では、いなりやま福祉会が運営する福祉施設「満天の星」と「いなりやま共同作業所」の方々と、様々な関わりをもち続けています。全校生徒が参加しての福祉交流会は、利用者の方々をお招きして、一緒に歌ったり踊ったりする一番の交流の機会です。

この交流会は、15年ほど前、当時「満天の星」を訪問していた福祉委員と所長さんが「全校での交流ができないか」と話し合ったことから始まりました。

交流会を成功させるために、人権福祉委員会の委員が事前に施設を訪問して、「満天の星」の交流の歌や振り付けを教えてもらい、各クラスで練習を重ねました。当日は練習の成果を発揮して交流を楽しみました。

福祉会の職員さんや利用者の方々からは、「音楽での交流会はとても楽しく、皆で元気に歌うことができた」「生徒さん達に歓迎してもらって、うれしかったです」と喜んでいただきました。

作業所の方の制作品を文化祭で展示したり、福祉会主催の資源回収にボランティアとして参加したりもしています。

このような心温まる交流を、これからもずっと続けていきたいと思います。

あの震災を忘れないで！

“復興の花”ひまわりの種を贈ろうプロジェクト

上田市立 真田中学校の取り組み

真田中学校生徒会では、東日本大震災で被災した宮城県亘理郡山元町に「“復興の花”ひまわりの種を贈ろうプロジェクト」を続けています。

山元町との交流は、2011年の震災直後、真田中から同町のやまもと幼稚園にお菓子や落書き帳を贈り、その後、同園から朝顔の種が届いたことから始まりました。

やまもと幼稚園では原発事故による除染作業のため、植えたひまわりをすべて刈り取らなければなりませんでした。

そのことを知った有志生徒が「真田中学校でひまわりを育てて、種を届けよう」と提案。プロジェクトは生徒会の活動に発展し、2014年には生徒代表が山元町を訪れ、ひまわりの種を届けました。

地域の方にも栽培をお願いして、今年も真田からたくさんの“元気の種”を届けます。

18歳までの子どもがかける「子ども専用の電話」
チャイルドライン
フリーダイヤル 0120-99-7777
困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。
★ちょっといいにくいことでも、名前は言わなくていいので安心して話してください。
★お説教はしません。どんなことでも、いっしょに考えます。
みんなにカードが届くよ。フリーダイヤルでかけてね！
チャイルドラインは皆さんの赤い羽根共同募金が役立てられています。

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう！
どこにあるかわからないひとはこちらまで！
●発行／お問い合わせ●
社会福祉法人 長野県社会福祉協議会（ふれあいネットワーク）
〒380-0928 長野市若里7-1-7 県社会福祉総合センター内
TEL.026-226-1882 FAX.026-228-0130
電子メール vcenter@nsyakyo.or.jp
ホームページ http://www.nsyakyo.or.jp
公益社団法人 信濃教育会
〒380-0846 長野市旭町1098 TEL.026-232-6994
ホームページ http://www.shinkyo.or.jp/

やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDFファイルとしてダウンロードできます。どうぞご利用ください。
http://www.nsyakyo.or.jp

この新聞の発行には、皆さんの赤い羽根共同募金が役立てられています。